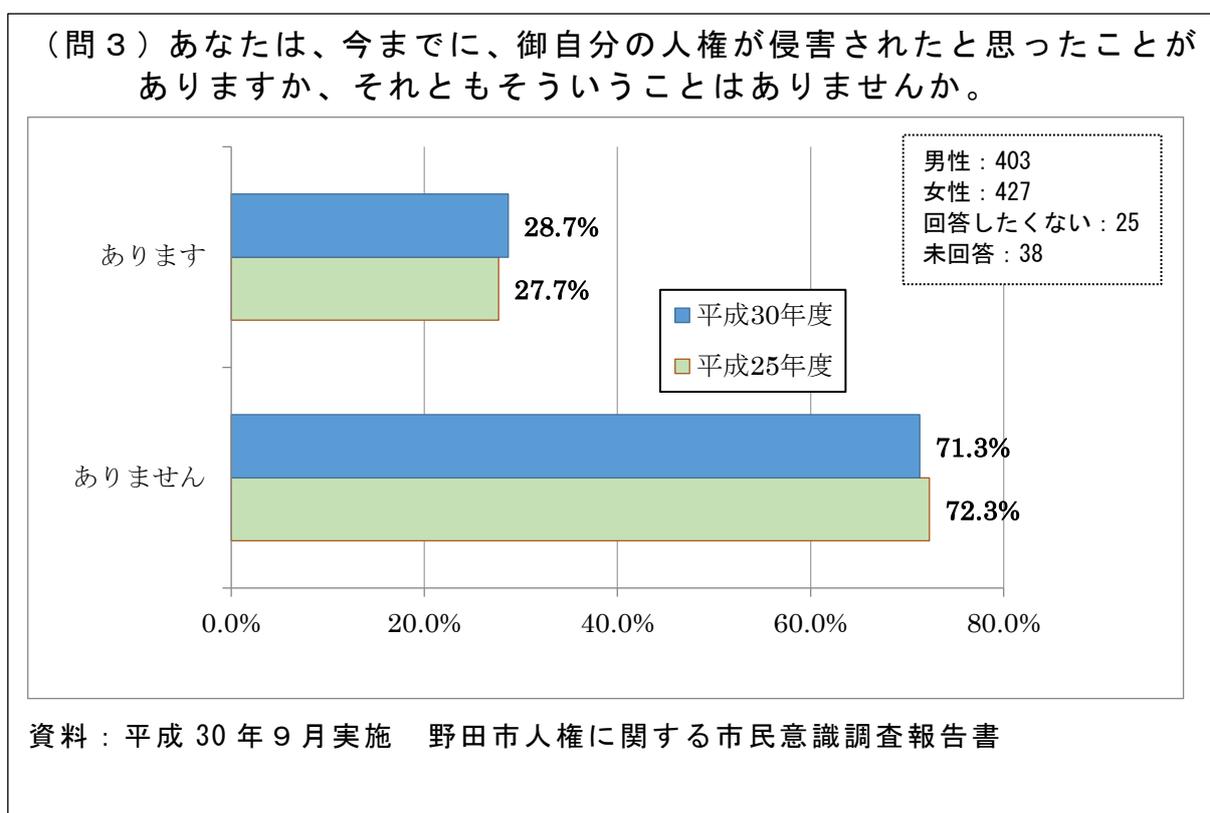


第3章 人権に関する意識の現状

第3章 人権に関する意識の現状

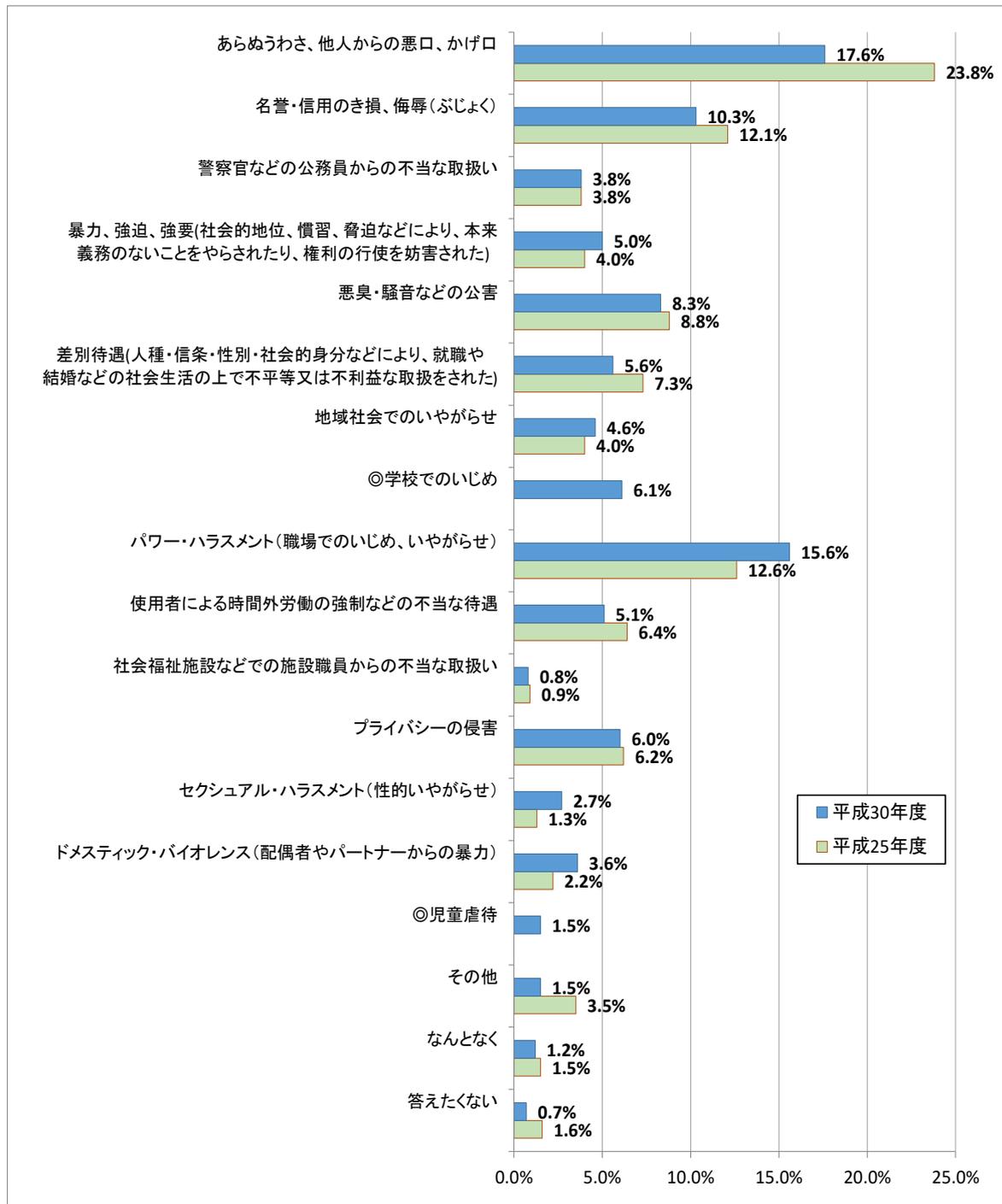
国においては、基本的人権の尊重を基本原理の一つとする日本国憲法の下で、人権に関する制度の整備や施策の推進が図られてきましたが、依然として、様々な人権問題が存在しています。

平成30（2018）年に実施した「人権に関する市民意識調査（以下「人権意識調査」）」（市内在住の満18歳以上の方2,000人を対象。回収率45.15%）によると、「あなたは、今までに、御自分の人権が侵害されたと思っただけ事がありますか、それともそういうことはありませんか」との問いに対して「ある」と回答した人が28.7%となっており、前回よりも1.0%上昇しています。



次に、「人権が侵害されたと思ったのはどのような場合ですか」との問いに対しては、「あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口」が17.6%、次いで「パワー・ハラスメント」（職場でのいじめ、いやがらせ）が15.6%、「名誉・信用のき損、侮辱」は10.3%となっています。

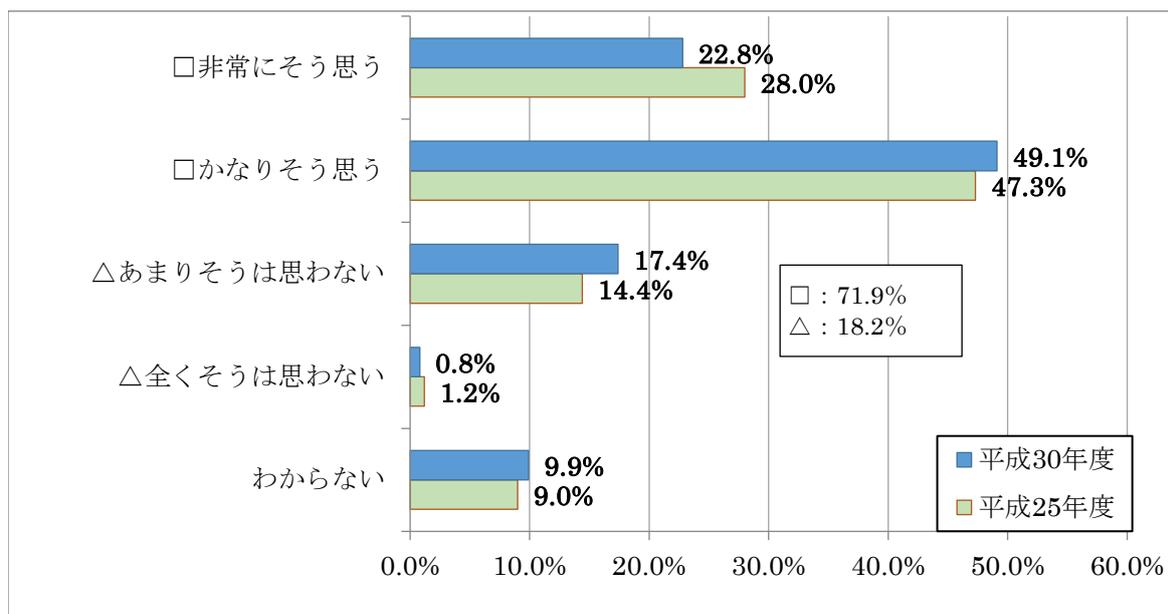
（問4）人権が侵害されたと思ったのは、どのような場合ですか。（複数回答）◎今回新たに追加した項目



資料：平成30年9月実施 野田市人権に関する市民意識調査報告書

さらに、「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたはどう思いますか。」との問いに対して、「非常にそう思う」、「かなりそう思う」と回答した方を合わせると 71.9%となっています。

（問5）「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたは、どう思いますか。

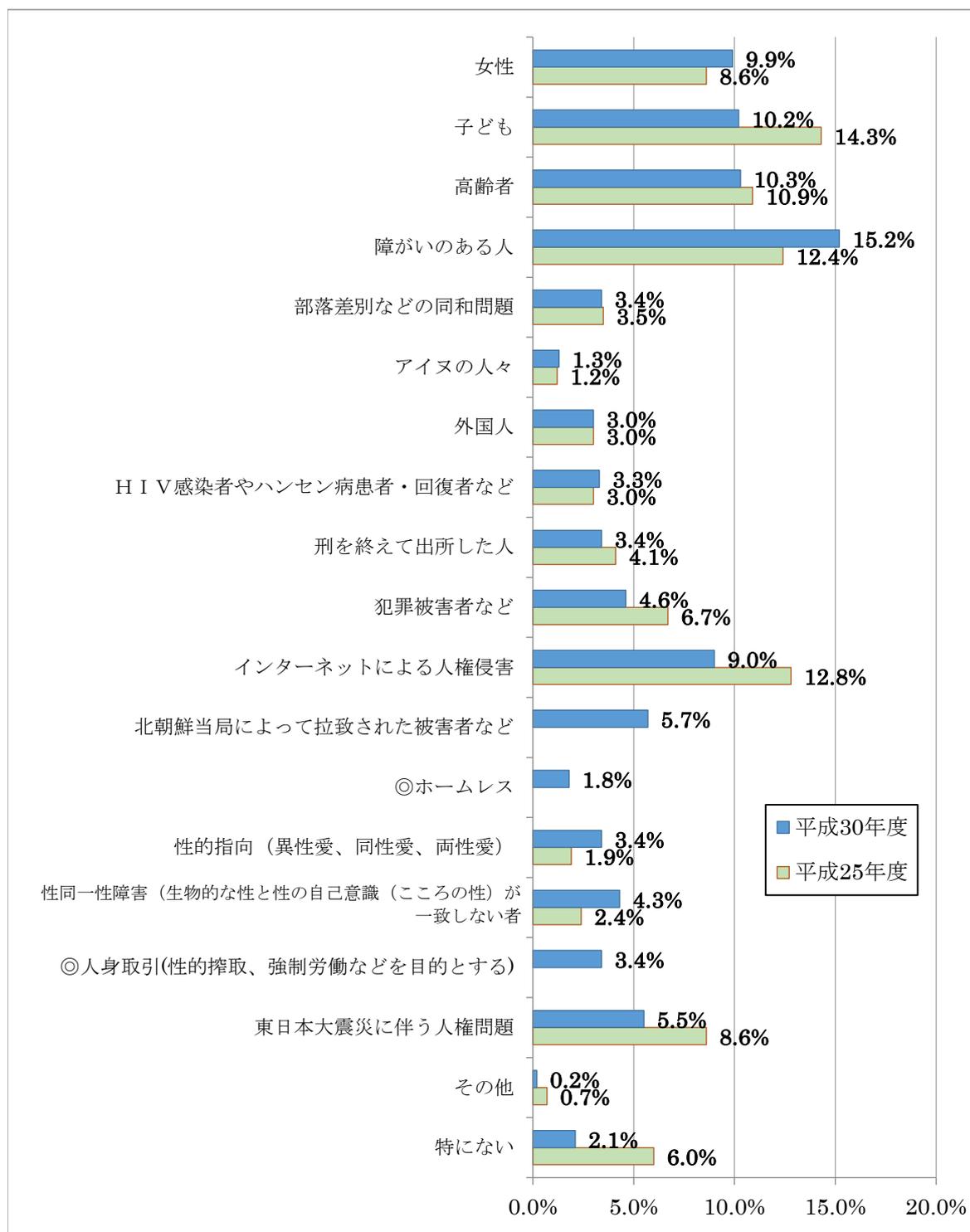


資料：平成30年9月実施 野田市人権に関する市民意識調査報告書

次に、「関心がある人権問題」の問いについては、「障がいのある人」（15.2%）、次いで「高齢者」（10.3%）、「子ども」（10.2%）、「女性」（9.9%）の順となっています。

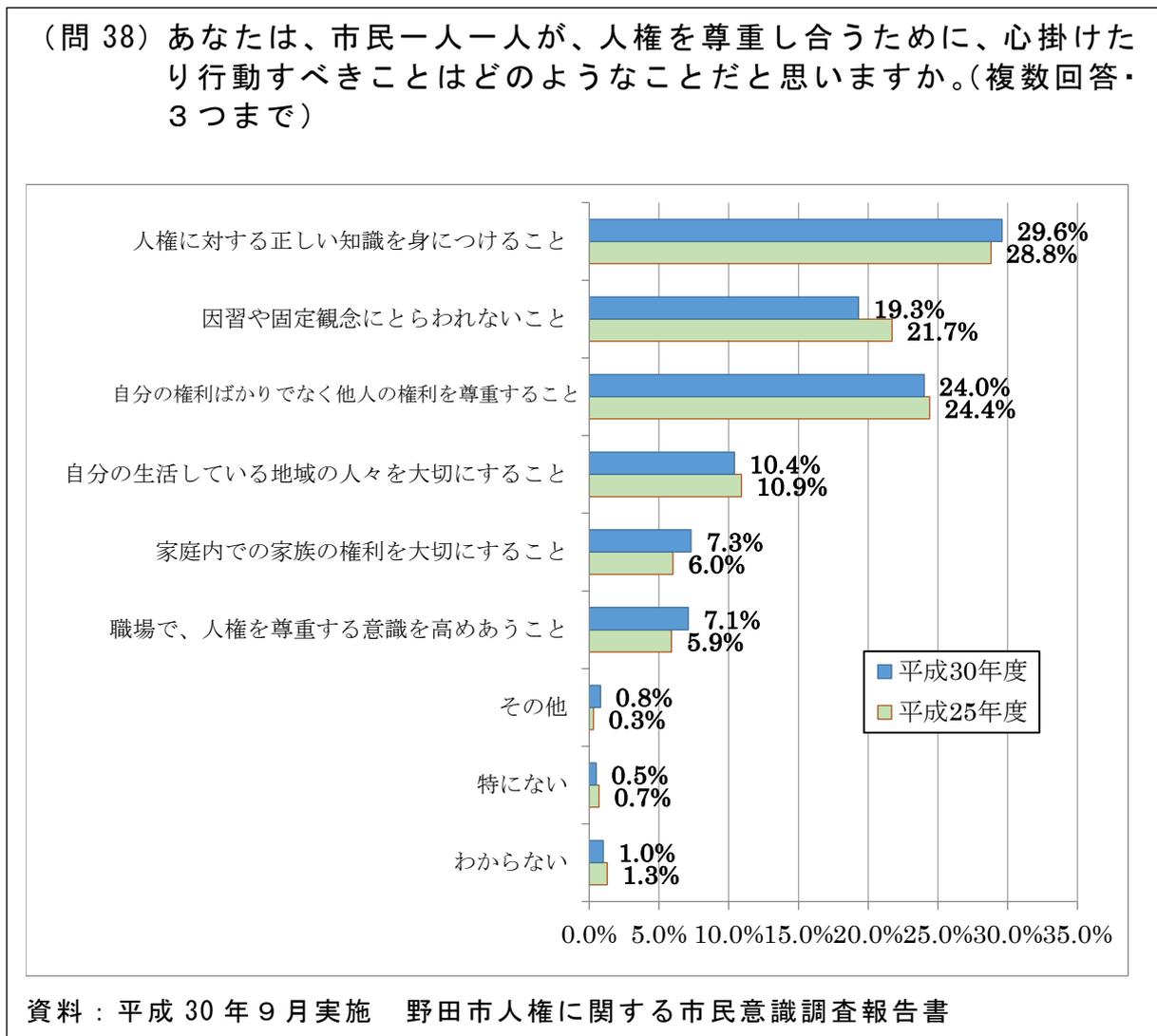
（問8）あなたの関心がある人権問題はどれですか。（複数回答）

◎今回新たに追加した項目



資料：平成30年9月実施 野田市人権に関する市民意識調査報告書

また、「市民一人一人が、人権を尊重し合うために、心掛けたり行動すべきことはどのようなことか」の問いに、「人権に対する正しい知識を身につけること」が29.6%、「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」が24.0%、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」が19.3%の順になっており、人権教育・啓発の取組が必要だと考えている方が大変多いことが分かりました。



以上のことから、人権に関する市民意識の現状を分析した結果、「障がいのある人」、「高齢者」、「子ども」、「女性」の人権問題について正しい知識を身に付けるとともに、自分の人権のみならず他人の権利についても相互に尊重し合う、人権教育・啓発に関する施策の必要性がますます高まっている状況にあると言えることから、市では、これらの調査結果を踏まえ、「市民一人一人が尊重され安心して暮らせる地域社会」の実現を目指して、本計画に位置付けられた施策を積極的に推進します。